

【志 花の期間のはじめに】

京都市立下京中学校

校長 安居 昌行

「時間を大切に、春を待つ」

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお祈りします。

今年は元旦から大雪が降り、京都の街は一面の銀世界となりました。真っ白な外の景色を心静かに見つめながら、自分の「将来の夢や希望、そして志」について考えた人もいたのではないのでしょうか。皆さんはどのような正月を過ごしましたか。冬休みも終わり、新たなステージ「下京中では“花”と呼んでいる」学習の期間が始まります。気持ちも新たに、一年間の総まとめを行う時期となりました。また、3年生は自分の進路を切り拓く重要な時期でもあります。悔いのないステージを過ごしてください。大雪の下では、花や木の芽がじっと力を蓄えつつ春を待っています。皆さんも、大きな花を咲かせるべく、しっかりと学びを深めてください。

さて、今年度のはじめに生活を見直そうと呼びかけた「3つの間」のうち、「空間・仲間」とともに、この時期は特に「時間」を意識してほしいと思います。時計の針が刻々と時刻を刻むように物理的な時間はだれにでも同じように与えられています。しかし、心理的な時間は「今日は長い一日だった」などと、人によって、また状況によって異なるものです。皆さんもこれまで何度も経験していると思いますが、この「花の期間」は、あっという間に過ぎ去っていく3か月でもあります。一日一日、一時間一時間を大切に過ごしてほしいと思います。与えられた同じ時間をどのように使うか、それはあなた自身の問題でもあります。

ところで、「動物のサイズが違えば機敏さが違い、寿命が違い、総じて時間の流れる早さが違ってくる。・・・一生の間に心臓が打つ総数や体重あたりの総エネルギー使用量は、サイズによらず同じである（『ゾウの時間 ネズミの時間』本川達雄著）」とされています。本川さんは“サイズからの発想によって動物のデザインを発見し・・・人類の将来に貴重なヒントを提供する”という壮大な「志」をもってこの本を執筆されました。そして、この本は20年以上たった今も読み継がれてきています。

私たちの学校下京中学校の校是「志きらめく 一志は高く、学びは深く、出会いは広く」を改めて噛みしめながら、皆さんと共に、大きな花を咲かせるべく、日々を大切に送っていきたいと思います。

一年の計は元旦にあり



〈元旦の雪〉